

特別企画： 岡山県 本社移転に関する動向調査（2020年）

## 2020年、転入・転出ともに15社 ～直近10年間では9社の転入超過～

### はじめに

新型コロナウイルスの感染拡大が、企業に対して「従業員の働き方」や「オフィスのあり方」の再考を促すきっかけとなった。東京都をはじめとした大都市圏では、テレワーク、web会議などが急ピッチで普及すると同時に、オフィス面積の縮小や本社機能の地方移転を検討・実践する動きがみられるようになった。

政府が進めている「まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、東京一極集中の是正と地方創生をさらに加速させる機会と捉え、2020年末に新型コロナウイルス感染拡大の影響を踏まえた改訂を盛り込んだ。コロナ禍に翻弄され続けた2020年、企業の本社機能の転入・転出の状況はどうだったのだろうか。

帝国データバンク岡山支店では自社データベース・企業概要ファイル「COSMOS2」（147万社収録）をもとに、2020年および2011年～2020年の10年間で本店所在地の「岡山県への転入が判明した企業」や「岡山県からの転出が判明した企業」を抽出し、移転年別、業種別、年商規模別、転入企業の移転元、転出企業の移転先などの分析を行った。

※本店所在地とは実質的な本社機能のある事業所の場所を指し、商業登記上の本店所在地と異なるケースもある

### ■岡山県の転入・転出社数(2020年)



### 調査結果（要旨）

- 2020年に岡山県へ転入した企業は15社、岡山県から転出した企業も15社  
岡山県へ転入した企業の移転元、『広島県』（5社・構成比33.3%）が最多。岡山県から転出した企業の移転先も『広島県』（5社・33.3%）が最も多く  
業種別、転入は『製造業』が最多。転出は『サービス業』が最も多く  
年商規模別、転入は『1億円～10億円未満』が最多。転出は『1億円未満』が最も多く
- 2011年～2020年の10年間に、「岡山県へ転入した企業」は139社、「岡山県から転出した企業」は130社となり、9社の転入超過に。移転年別でみると、「岡山県へ転入した企業」では2013年と2018年の19社が最多、2015年の7社が最少。「岡山県から転出した企業」では2016年の21社が最多、2011年の6社が最少

## 1. 2020年は転入15社、転出15社

### ○転入企業の移転元・転出企業の移転先（都道府県）

2020年に県外から岡山県へ転入した企業は15社あった。『広島県』が5社（構成比33.3%）で最も多く、『香川県』『大阪府』が各2社（13.3%）、『島根県』『鳥取県』『兵庫県』『滋賀県』『東京都』『宮城県』が各1社（6.7%）で続いた。

一方、2020年に岡山県から県外へ転出した企業は15社あった。『広島県』が5社（33.3%）で最も多く、『大阪府』が4社（26.7%）、『神奈川県』『東京都』が各2社（13.3%）、『愛知県』『埼玉県』が各1社（6.7%）で続いた。

### ○業種別

2020年に県外から岡山県へ転入した企業15社について、業種別でみると、『製造業』が4社（構成比26.7%）で最も多く、『サービス業』が3社（20.0%）、『建設業』『運輸・通信業』『不動産業』が各2社（13.3%）、『卸売業』『小売業』が各1社（6.7%）で続いた。『その他』はなかった。

一方、2020年に岡山県から県外へ転出した企業15社についてみると、『サービス業』が6社（40.0%）で最も多く、『卸売業』『小売業』『運輸・通信業』『不動産業』が各2社（13.3%）、『製造業』が1社（6.7%）で続いた。『建設業』『その他』はなかった。

### ○年商規模別

2020年に県外から岡山県へ転入した企業15社について、年商規模別でみると、『1億円～10億円未満』が7社（構成比46.7%）で最も多く、『1億円未満』が6社（40.0%）、『10億円～50億円未満』が2社（13.3%）で続いた。『50億円以上』はなかった。

一方、2020年に岡山県から県外へ転出した企業15社についてみると、『1億円未満』が8社（53.3%）で最も多く、『1億円～10億円未満』が5社（33.3%）、『10億円～50億円未満』『100億円以上』が各1社（6.7%）で続いた。『50億円～100億円未満』はなかった。

■岡山県へ転入した企業の移転元

	都道府県	件数	構成比
1	広島県	5	33.3%
2	香川県	2	13.3%
	大阪府	2	13.3%
4	島根県	1	6.7%
	鳥取県	1	6.7%
	兵庫県	1	6.7%
	滋賀県	1	6.7%
	東京都	1	6.7%
	宮城県	1	6.7%
	合計	15	100.0%

■岡山県から転出した企業の移転先

	都道府県	件数	構成比
1	広島県	5	33.3%
2	大阪府	4	26.7%
3	神奈川県	2	13.3%
	東京都	2	13.3%
5	愛知県	1	6.7%
	埼玉県	1	6.7%
	合計	15	100.0%

■転入企業

	業種	件数	構成比
	建設業	2	13.3%
	製造業	4	26.7%
	卸売業	1	6.7%
	小売業	1	6.7%
	運輸・通信業	2	13.3%
	サービス業	3	20.0%
	不動産業	2	13.3%
	その他	0	0.0%
	合計	15	100.0%

■転出企業

	業種	件数	構成比
	建設業	0	0.0%
	製造業	1	6.7%
	卸売業	2	13.3%
	小売業	2	13.3%
	運輸・通信業	2	13.3%
	サービス業	6	40.0%
	不動産業	2	13.3%
	その他	0	0.0%
	合計	15	100.0%

■転入企業

	年商規模	件数	構成比
	1億円未満	6	40.0%
	1億円～10億円未満	7	46.7%
	10億円～50億円未満	2	13.3%
	50億円～100億円未満	0	0.0%
	100億円以上	0	0.0%
	合計	15	100.0%

■転出企業

	年商規模	件数	構成比
	1億円未満	8	53.3%
	1億円～10億円未満	5	33.3%
	10億円～50億円未満	1	6.7%
	50億円～100億円未満	0	0.0%
	100億円以上	1	6.7%
	合計	15	100.0%

## 2. 2011年～2020年の10年間、9社の転入超過（転入139社・転出130社）

### ○県外から岡山県へ転入した企業数

2011年～2020年の10年間で、県外から岡山県へ転入した企業は139社だった。年別で見ると、岡山県に転入した企業が最も多かったのは、2013年と2018年の19社。一方、最も少なかったのは2015年の7社だった。

### ○岡山県から県外へ転出した企業数

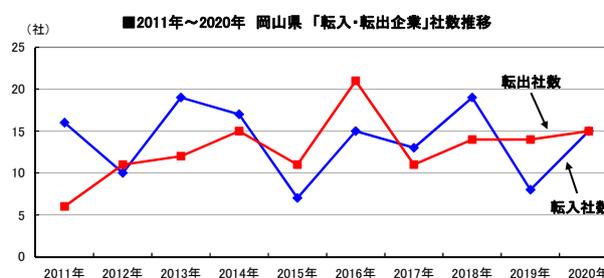
2011年～2020年の10年間で、岡山県から県外へ転出した企業は130社だった。年別で見ると、岡山県から転出した企業が最も多かったのは、2016年の21社。一方、最も少なかったのは2011年の6社だった。

### ○転入・転出の比較

2011年～2020年の10年間で、転入した企業139社に対し、転出した企業が130社となり、転入社数が転出社数を上回る「転入超過」が9社となった。2011年、2013年、2014年、2017年、2018年の5年間で転入超過となった。

■転入・転出社数の年別推移

判明年	転入社数	転出社数	転入－転出
2011年	16	6	10
2012年	10	11	▲1
2013年	19	12	7
2014年	17	15	2
2015年	7	11	▲4
2016年	15	21	▲6
2017年	13	11	2
2018年	19	14	5
2019年	8	14	▲6
2020年	15	15	0
合計	139	130	9



## まとめ

2020年に岡山県へ転入した企業は15社だったのに対し、岡山県から転出した企業も15社だった。2011年～2020年の10年間でみると、転入が転出を上回る年が多く、9社の転入超過となった。これは、広い平野部があることや中国・四国エリア全体へのアクセスの良さが要因の一つといえる。転出先では都市圏が多く、優秀な人材や豊富な情報量、大きい市場でのビジネスチャンスを掴もうとする企業の思惑があると考えられる。

新型コロナウイルス感染拡大をきっかけとして在宅勤務やテレワーク、web会議など、出社せずとも業務が可能な働き方の導入が進んできたことで、本社機能や主要拠点が大都市圏へ集中する傾向が緩和される可能性がでてきた。比較的災害が少ないといわれ、気候や地理的条件に恵まれている利点があり、転入を検討する企業が増える素地がある。また、政府・地方自治体が進める地方創生を推進する動きが加速し、将来的に地方経済が活性化することも期待できるだろう。

【問い合わせ先】 株式会社帝国データバンク 岡山支店 担当：中原  
TEL：086-224-4681 FAX：086-223-1719

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。  
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。  
著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。